

# 地域包括ケア会議を中心とした高齢者課題把握と対応策の検討実施(富士見町)

- 地域包括ケア会議を設置、高齢者課題の明確化、課題解決の方向性の検討を開始。
- 5つの取組課題について検討を進め、「OT・PTなどの協力を得た“高齢者の新たな交流の場”づくり」や「介護関係以外の団体との“地域安心見守り協定”の締結」など、地域包括ケア構築に向けた取組を順次実施。

## 地域別包括ケア委員会 (全体会議)

### 【出席者】

- ・ 町医師会
- ・ 民生児童委員協議会
- ・ 保健補導委員会
- ・ 高齢者クラブ連合会
- ・ 女性団体連合会
- ・ ボランティア連絡会
- ・ 社会福祉協議会
- ・ 町内の介護関連施設
- ・ 町交番
- ・ 消防署
- ・ 商工会
- ・ 農協
- ・ 郵便局
- ・ 金融機関
- ・ 新聞店
- ・ 清掃用具レンタル事業者
- ・ 宅配事業者
- ・ タクシー事業者
- ・ 町、地域包括支援センター 等

## 5つの取組課題と対応策(予定)

### 「足」問題

- ・ 虚弱高齢者の外出支援策の試行

### 高齢者の交流の場づくり

- ・ 地区懇談会の開催とネットワーク構築
- ・ 健康づくりを目的とした介護予防実施

### 高齢者安心ネット

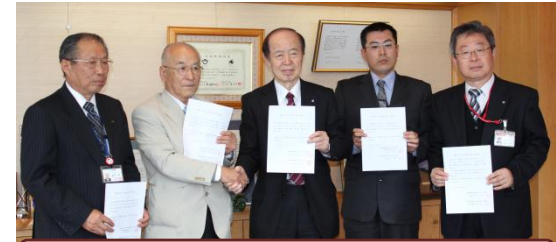
- ・ 孤独死ゼロに向け商工会・農協・郵便局等と地域安心見守り協定を締結

### 高齢者サービス充実

- ・ 高齢者福祉介護サービス事業者会議の開催

### 医療福祉の連携

- ・ 医療・福祉の関係者会議の開催
- ・ 病院・ケアマネ・介護保険事業所間の情報共有用の手帳作成



地域安心見守り協定の締結



口腔機能向上や棒体操なども取り入れた“交流の場”づくりの模索

## 地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例

①市区町村名	富士見町
②人口（※1）	15,255人（平成25年3月31日時点）（ ）
③高齢化率（※1） （65歳以上、75歳以上それぞれについて記載）	65歳以上人口 4,616人（高齢者率 30.26%）（ ） 75歳以上人口 2,623人（高齢者率 17.19%） ※数値はともに、平成25年3月31日時点のもの
④取組の概要	<p>地域包括ケア会議を立ち上げ、同会議に設置した5つの課題別会議及び各種取組を通じて、地域包括ケアを進めるための社会資源及び高齢者ニーズの状況把握、課題の明確化を図る。</p> <p>〔地域包括ケア会議の開催と多角的取組による地域包括ケアの創出〕</p> <p>◇ <u>地域包括ケア会議（全体会議）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「<u>高齢者の「足」問題会議</u>」と公共交通機関の充実に向けた取組の検討 自家用車なしでの生活継続が困難なこの町において「足」の問題は重要な課題であり、デマンドバスを利用した外出できる体制づくりを検討。</li> <li>○ 「<u>高齢者の「交流場」づくり会議</u>」と新たな高齢者クラブ等の模索 高齢者クラブの減少は、高齢者同士のつながりが希薄になり、孤独、機能低下、支援が遅くなるなどの弊害が生まれるので、高齢者が集う場所の提供を検討。</li> <li>○ 「<u>孤独死ゼロ会議</u>」と地域安心見守り事業の実施 全国的に「孤独死」が問題となる今日、富士見町として「孤独死ゼロ」に向けた地域づくりを目指す取組を検討（民間事業者と町の協定締結）。</li> <li>○ 「<u>介護保険事業会議</u>」と高齢者サービスの充足と資質向上の取組 事業所主導のサービスから、高齢者ニーズに応じたサービスへの転換を目指した取組を検討。</li> <li>○ 「<u>医療福祉連携会議</u>」と医療福祉の連携の検討 医療と福祉の情報共有により、高齢者により効果的な治療、支援を目指し取組を検討。</li> </ul>
⑤取組の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多職種が参画する地域包括ケア会議（全体会議及び5つの課題別会議）における高齢者課題の明確化、課題解決に向けた具体的な取組の実施等により地域包括ケアの構築が期待できる。</li> <li>○ 地域での高齢者活動の活性化により、元気高齢者の増加と、課題を抱えた高齢者の早期発見が期待できる。また、様々な機関との連携により、一人暮らしや高齢者のみ世帯の見守り実施（孤独死ゼロ）、高齢者に効果的な治療・支援の実施などが見込まれる。</li> </ul>
⑥開始年度	平成24年度
⑦取組のこれまでの経緯	○ 平成24年度、地域包括ケア会議を開催し、高齢者課題の明確化、課題解決の方向性の検討を行ったほか、「足」問題、「交流場」づくり、「孤独死ゼロ」について各種取組を行った。

	<p>〔全体会議出席者〕</p> <p>町医師会、民生児童委員協議会、保健補導委員会、高齢者クラブ連合会、女性団体連合会、ボランティア連絡会、社会福祉協議会、町内の介護関連施設、町交番、消防署、商工会、農協、郵便局、金融機関、新聞店、清掃用具レンタル事業者、宅配事業者、タクシー事業者、町、地域包括支援センターの役員・職員等</p> <p>○ 公共交通機関の充実に関しては、現在運営しているデマンドバスにおいて、バスに介助者（保健師等の有資格者）を試行的に同乗させ、虚弱高齢者の利用ニーズの把握を行った。</p> <p>○ 高齢者クラブのない富士見ヶ丘区、若宮区の2地区を対象に「地区懇談会」を開催し、民生委員、区長等の関係者で、地区の高齢者交流の場づくりについて検討、「交流の場」を提供した。</p> <p>〔懇談会参加者〕</p> <p>社会福祉協議会（地域支援担当）、区長・副区長、高齢者の代表（4～5人）民生児童委員、保健補導員、ケアマネージャーの代表、地域包括支援センター職員、町職員</p> <p>○ 孤独死ゼロに向けた取組として、商工会職員、農協職員、郵便局職員等、地域の様々な機関を巻き込んでの見守り体制づくりとして「地域安心見守り事業」による協定を平成25年4月30日に締結した。</p>
⑧主な利用者と人数	—
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	<p>実施主体：富士見町 住民福祉課</p> <p>関連する団体等：富士見町社会福祉協議会 富士見町地域包括支援センター</p>
⑩市区町村の関与（支援等）（※2）	<p>平成24年度決算額</p> <p>町 一般会計より、事業費の1/2支出（総額 1,000,000円）</p> <p>平成25年度予算額</p> <p>町 一般会計より、事業費の1/2支出（総額 825,000円）</p>
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※3）	<p>平成24年度決算額</p> <p>県 地域包括ケア実践モデル事業補助金 事業費の1/2支出 （総額 1,000,000円）</p> <p>平成25年度予算額</p> <p>県 地域包括ケア実践モデル事業補助金 事業費の1/2支出 （総額 825,000円）</p>
⑫取組の課題	県モデル事業終了後の事業継続実施体制の構築
⑬今後の取組予定	<p>○ 高齢者課題の明確化、課題解決に向けての方向性を検討すべく、地域包括ケア会議の全体会議を2年目の平成25年度は2回開催する。</p> <p>○ 高齢者の「足」問題会議、高齢者の「交流場」づくり会議、孤独死ゼロ会議、高齢者サービス会議、医療福祉連携会議の5つの課題別会議を2年目の平成25年度は、計8回開催する。</p>

	<p>○ 高齢者クラブがなくなった地域で、関係者の協力を得ながら</p> <p>① 地域支援事業と連携し健康づくりを目的とした介護予防事業の開催</p> <p>② 高齢者間のネットワークづくり</p> <p>を行ない、定期的に高齢者が集まれる「場作り」ができるよう検討する。 具体的には、希望地区7地区程度を選定し、OT（作業療法士）・PT（理学療法士）の協力なども得ながら、「交流の場」を提供する。事業参加状況、事業の効果及び継続実施に向けた問題点等を分析し、今後の新しい高齢者クラブのあり方について検討する。</p> <p>○ 孤独死ゼロに向けた取組として、町と社会福祉協議会、地域包括支援センターにて構築中の「地域支え合いネットワーク」システムによる情報共有と情報の有効活用を目指す。</p> <p>○ 高齢者福祉介護サービス事業者による会議を開催し、事業所間の情報共有と課題の明確化により、高齢者ニーズに合ったサービスの充足と、サービスの資質向上を目指す。</p> <p>○ 医療福祉の連携として、高齢者へのより効果的な医療、サービスの提供を目指し、医療関係者と福祉関係者による会議を開催する。また、病院とケアマネージャーや介護保険事業所間との情報共有が有効に行なえるよう、主治医、介護保険認定情報、ケアマネージャー、利用サービス、生活状況、内服薬等を記入できるオリジナル手帳を医師、ケアマネ等と内容について検討を行い作成する。</p>
⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	<p>富士見町 住民福祉課 介護高齢者係</p> <p>電話：0266-62-9133、FAX：0266-62-5228</p>

- ※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。
- ※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。
- ※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。